

## 現行（第1次）基本構想における基本理念の策定経過について

### 1. 全体構成について

現行計画における基本理念は、全体構成の策定過程の中で「私たちの望み〔基本理念〕」、「理想のまち〔将来像〕」、「まちづくりの方向」の3つの段階に整理され、次のように位置づけされた。

#### (1) 策定の経過

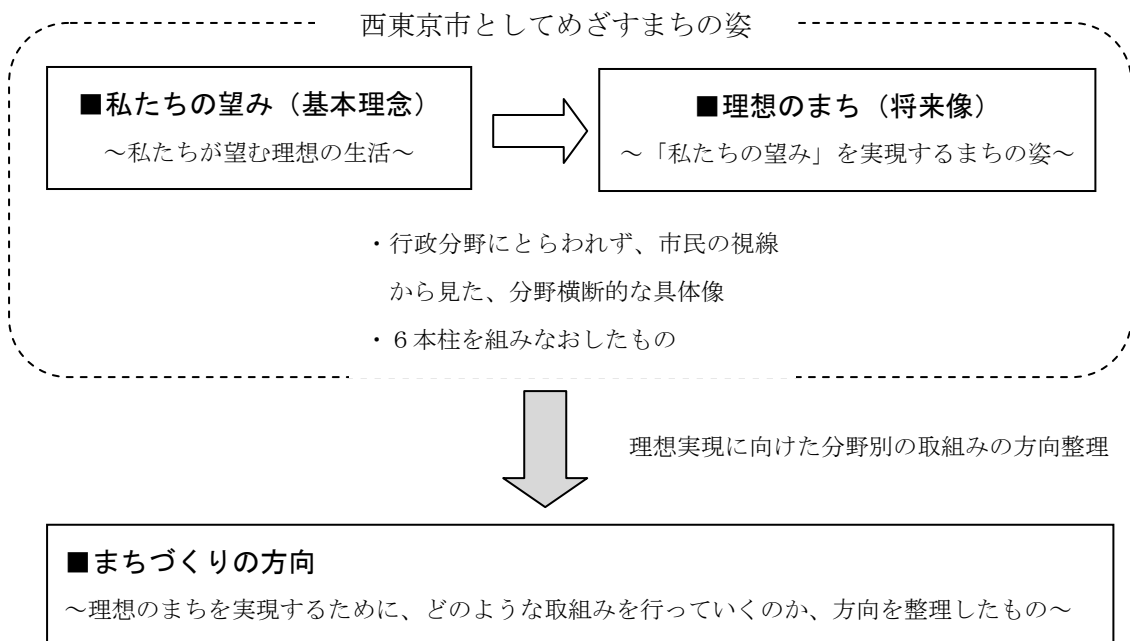
市が今後進むべき方向性や重点項目については、合併前後に行った市民意識調査や、市民ワークショップ、子どもワークショップ、庁内検討組織（部会・職員意識調査）から出された意見をできるだけ反映する視点で作成し、審議会での議論を経て確定した。全体構成の検討方法としては、部会やワークショップで貴重な意見やキーワードが出てきた中、それらを組み合わせながら6つの柱立て、4つの将来像、最後に何を理念として持っていくかという下からの積み上げで行なった。

#### (2) 策定の留意点

市民にわかりやすい言葉づかいに配慮し、「基本理念」という表現を「私たちの望み」と置き換えるなど、市民から見てわかりやすい計画づくりに配慮した。

また、西東京市は新たに誕生したまちで、これまでの歴史、文化、伝統を継承しながらも、市民、企業や団体、大学等、行政がそれぞれの役割を担いながら力を出し合い、新たなものを作り出していくという積極的な姿勢でまちづくりを進めていく考えを基本とした。

### 2. 全体の構図



### 3. 私たちの望み〔基本理念〕について

～やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ～

「一人ひとりが輝く」(※)状態をさらに発展させると、どのような状態なのかを議論した結果、私たちが望む理想の生活は、「西東京に住んでまちを楽しむ姿」であるとの考えから「西東京に暮らし、まちを楽しむ」という理念が出てきた。

また、子どもワークショップの中での意見では、「優しい」「楽しい」「ふれあい」「明るい」といった表現が多く出され、子どもが望んでいるまちの姿は、優しい人たちがいて、みんなで助け合って、楽しく明るいまちを望んでおり、理念に結びつけることが検討された。

さらに、部会やワークショップの各場面においても、キーワードとして出た「人と人」「ふれあい」「コミュニケーション」等から「西東京」の前段にこれらを加え、「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」という理念に結びついた。

「まちを楽しむ」姿は、一人ひとりが輝く姿をさらに発展させたものであると同時に、「まちを楽しむ」余裕があると、人に対する思いやり、優しさも生まれる。楽しさは個々人の主観が多く含まれるが、個々人が楽しめる背景、根底には、人と人のやさしさやふれあいがあってはじめて、個々人の楽しみも生まれてくるのではないかという議論の経過から、理念に結びついていった。

※新市建設計画基本理念「21世紀を拓き 緑と活気にあふれ 一人ひとりが輝くまち」